

長期海外出張報告



日時：2024年7月18日(木)

18:00~19:00 本館13階 第2講義室

小野寺晶子 先生

生化学講座 准教授

2021年7月から1年半、アメリカ、マサチューセッツ州、ケンブリッジにあるフォーサイス研究所 (The Forsyth institute, Cambridge, MA) の免疫学グループQing Yu先生に長期海外出張をさせていただいた概要を大学院生の皆様と共有したいと考えております。留学先では唾液腺病態メカニズム解析を行ってききましたが、今回の講演では研究の話よりも留学先をどのように決めたのか、ボスとの面談で聞かれたことなど細かい部分を交えて留学までの経緯と留学中の経験などをお話しできたらと思います。



菊池有一郎 先生

微生物学講座 講師

私は歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis*に関する知見を深めることを目的として、2021年3月から1年間、アメリカ、ケンタッキー州のレイビル大学歯学部、口腔免疫学・感染症学講座における海外出張の機会を頂きました。出張中は、Richard J Lamont教授の指導のもと、*in vitro*および*in vivo*での*P. gingivalis*と口腔レンサ球菌*Streptococcus gordonii*の二菌種共培養系システムについて学び、宿主免疫系からエスケープする2菌種の生存戦略の一部を明らかにしました。このセミナーでは、レイビル大学にて行った研究内容と新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による影響も含めた出張準備と現地での様子について報告させていただければと思います。

問い合わせ：大学院事務室 堂地 (dochi@tdc.ac.jp)

共催：ウェルビーイングプロジェクト 担当：溝口 利英 (口腔科学研究センター)